

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	人員不足の為、外出支援が行えていない。スタッフ一同も、入居者を外に出してあげたいという気持ちがあり、その気持ちを考慮した計画、実施が課題	スタッフの増員 そして 室内から玄関先 玄関先から門扉外へとステップアップした外出支援をしていく。	求人をかけてスタッフ確保。スタッフ間での連携を密にして、目標達成にむけた計画作り。まずは玄関先に憩のスペースを確保し、入居者が外気・日光にふれる機会を作る。	3ヶ月
2	2・35	地域との連携がうまくとれていない。スタッフ、入居者の顔を周りの皆様に知っていただくのが課題	災害時、何かあった時等、手助けして頂ける様、常日頃から地域との関係を密にとれるようにする。	自治会のイベント(総会・防災訓練・敬老会等)には積極的に参加。また隣町イベントにも積極的に参加し、広範囲で支えていただける環境を構築。ホーム裏に、小さな畑を作り、そこで入居者と近所にお住まいの皆様との関係作りをはかる。	6ヶ月
3	6	身体拘束について、玄関、門扉を常時施錠。入居者の尊厳が守られていない。	玄関鍵はOPENにして、好きな時に玄関先に出られる環境作りをしていく。	門扉から外は、車通りが多く、危険が隣り合わせ(これは課題)玄関鍵はOPENし、安全に玄関先に出られる環境をつくる。	3ヶ月
4	33	看取りについて。終末期支援の取り組み方法が明確でない。	どこまでホーム内で実施するのか明確にする。	終末期支援について、社長とコンタクトをとりグループ内全体での取り組み現状を確認。再検討を行う。	1ヶ月
5					ヶ月